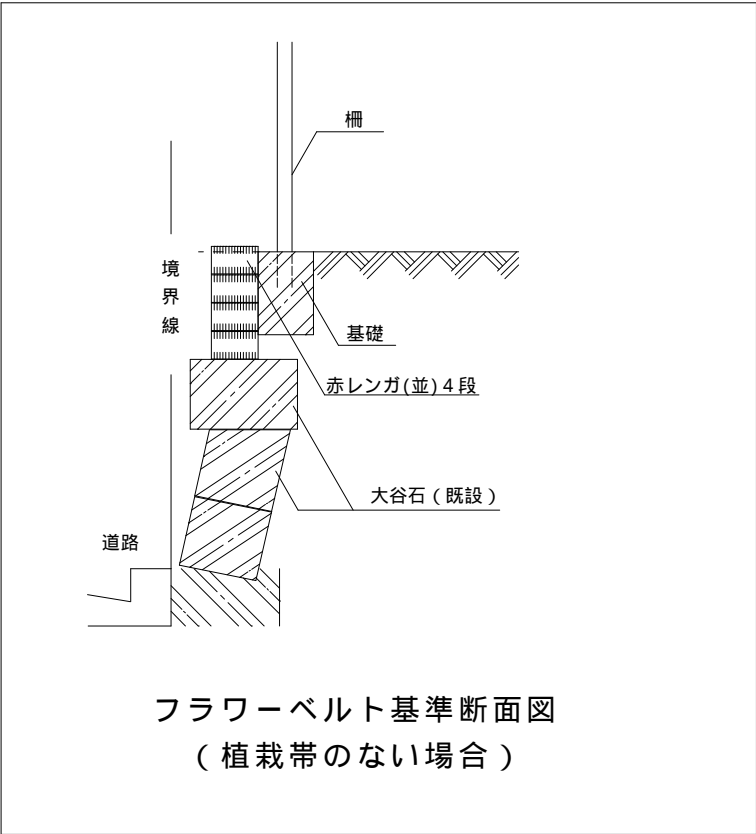
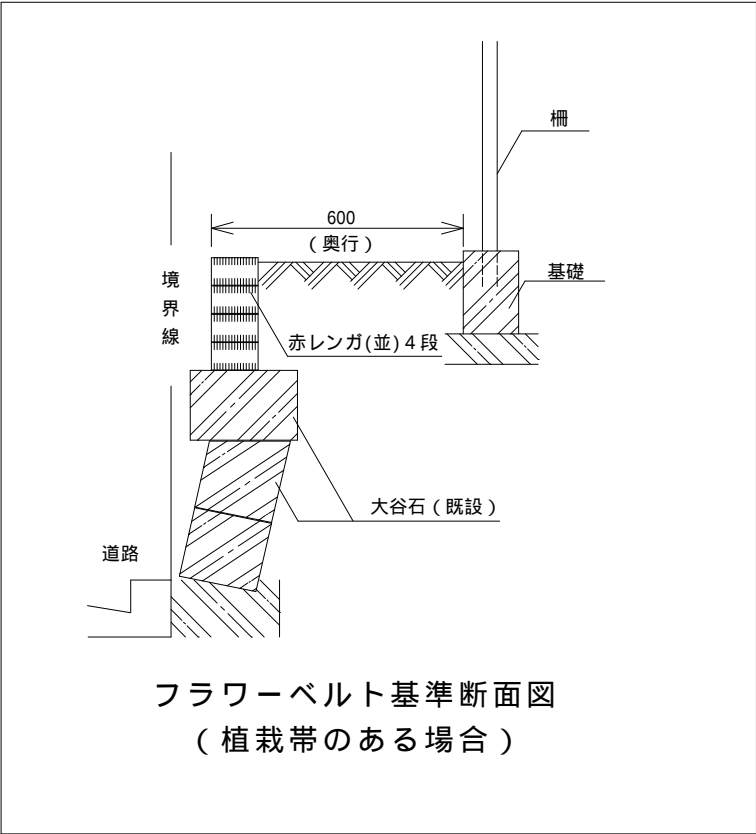
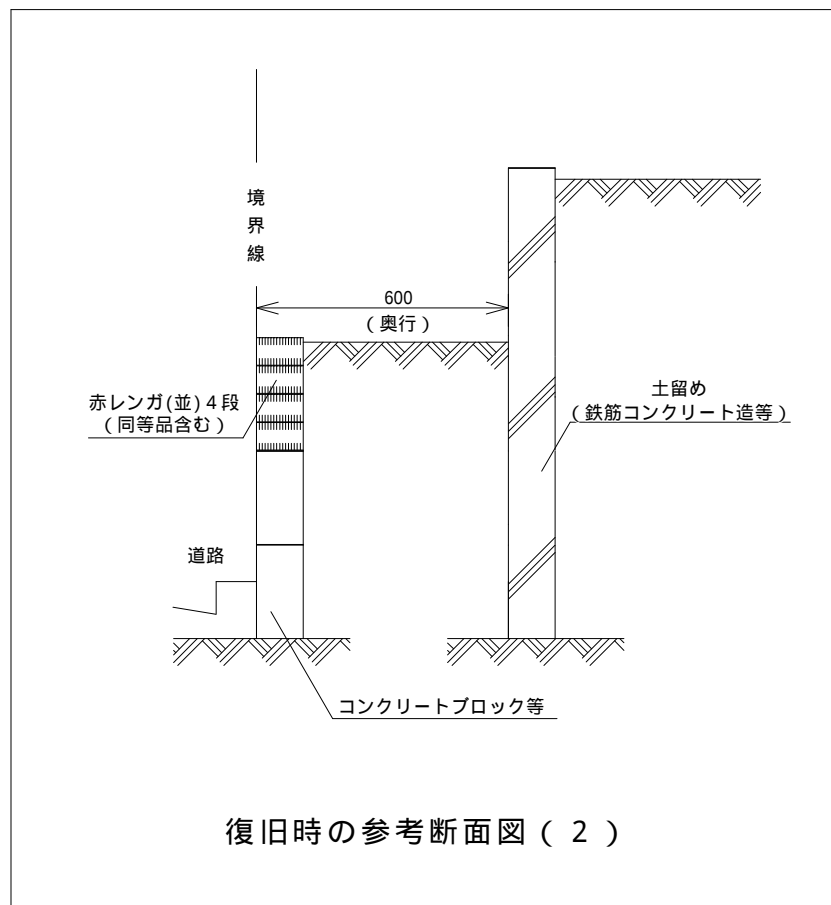
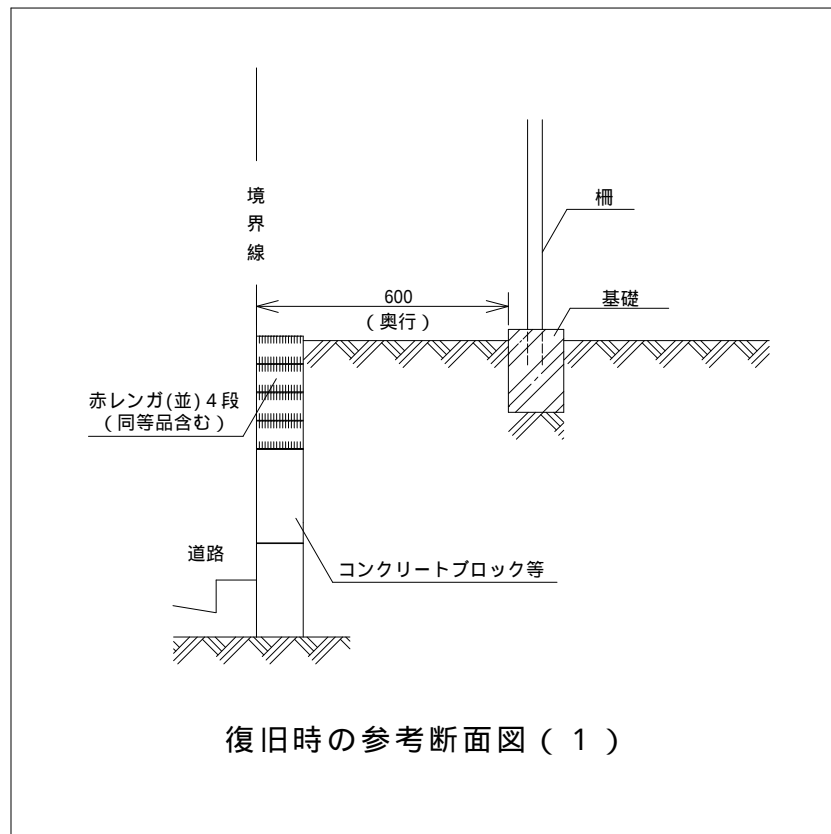


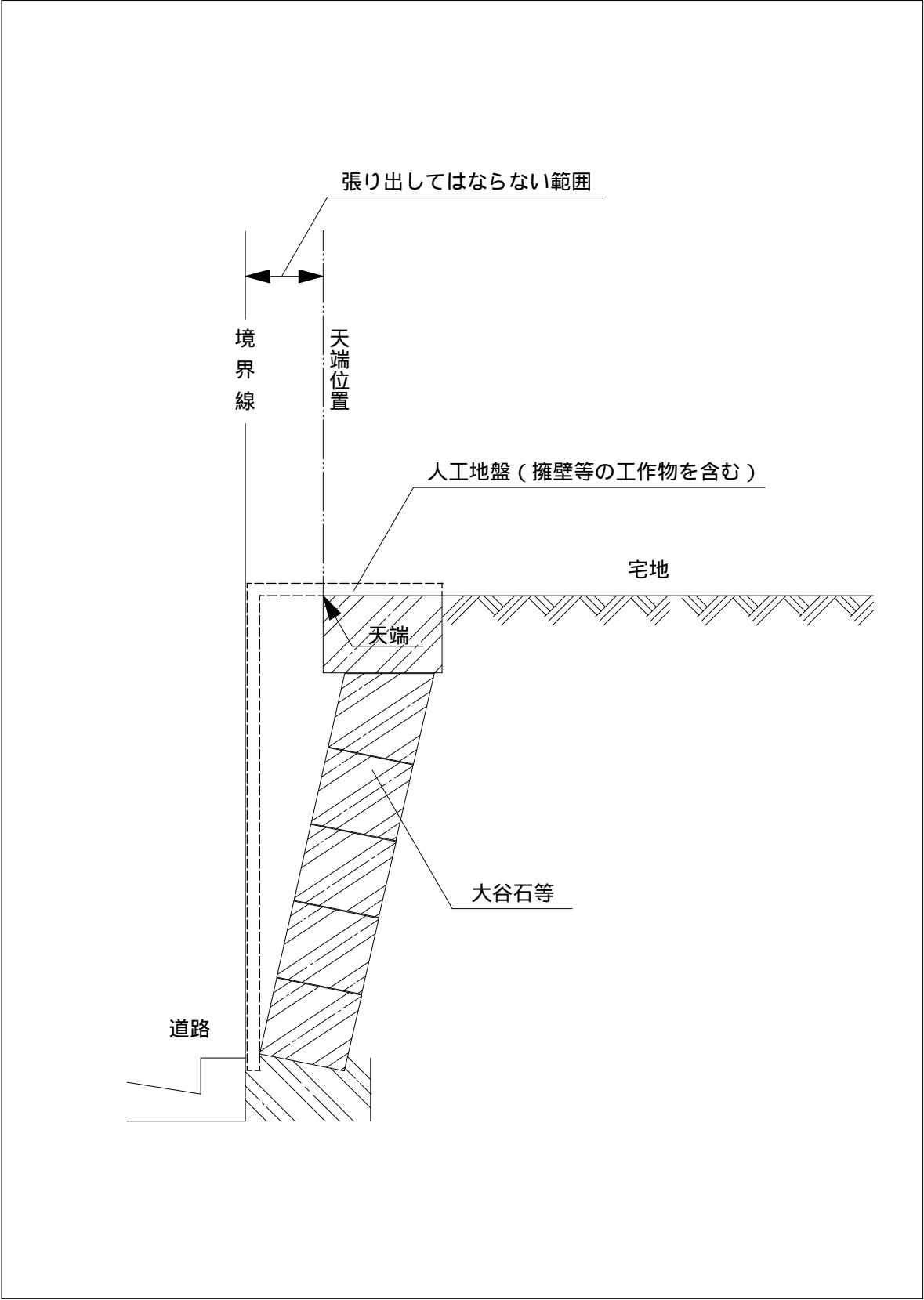
地区計画決定時のフラワーベルトの基準断面図（参考図）



フラワーベルト復旧時の基準断面図（参考図）



人工地盤 参考図 （擁壁等の工作物を含む）



【フラワーベルトを一部撤去し復旧する際の延長 算出方法】

○制限項目抜粋

1～4 略

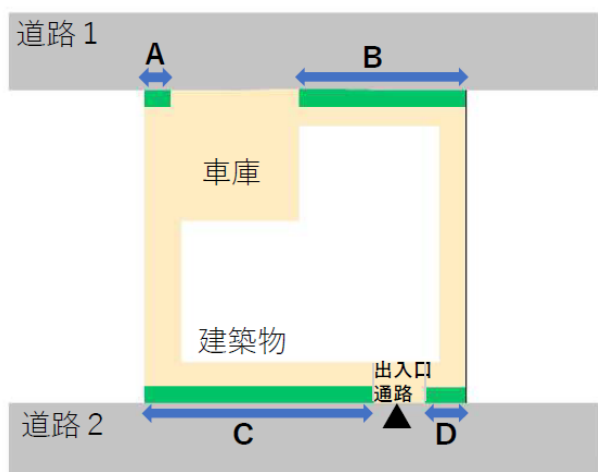
- 5 出入口用通路及び車庫の設置により、フラワーベルトをやむを得ず撤去する際は、各々の道路に面するフラワーベルトの延長が各4.0 m以上となるよう維持又は復旧するものとする。なお、地区計画決定の際にフラワーベルトの延長が4.0 mに満たない場合は、地区計画決定の際のフラワーベルトの延長と同等以上の延長とする。

〈フラワーベルトを一部撤去し復旧する際の延長 算出方法〉

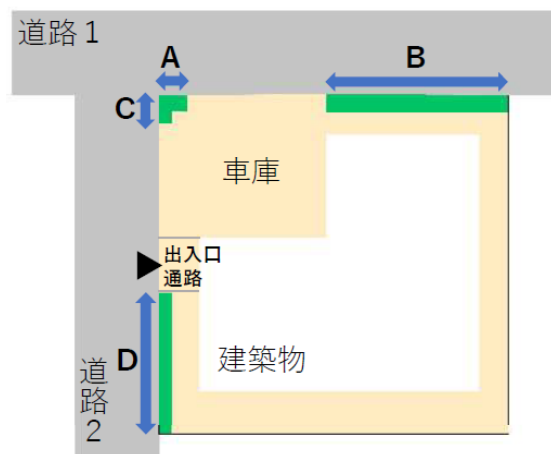
既設のフラワーベルトをやむを得ず撤去する部分は、出入口用の通路及び車庫への出入りに必要な部分（門柱、門塀及門扉を含む。）とし、その部分の撤去の際は、既設及び新設のフラワーベルトの延長の合計が4 m以上を維持するものとする。2方向以上の道路に面する敷地の際は、各々4 m以上設けるものとする。なお、建築計画前から既設のフラワーベルトの延長が4 mに満たない際は、既設の延長と同等以上確保するものとする。

○算出例

【パターン 1】



【パターン 2】



●算出方法

〈道路1〉 $A + B \geq 4.0 \text{ m}$ 〈道路2〉 $C + D \geq 4.0 \text{ m}$

※道路1・2ともに4.0 m以上を満たすことが必要

※建築計画前から既設フラワーベルトが4.0 mに満たない場合は、下限値を既設フラワーベルトの延長の数値に置き換えるものとする。なお、既存建築物を撤去する際に、フラワーベルトを併せて撤去し、更地として整地した場合は、下限値は4.0 mのままの取扱いとする。